



### 山本勘介

# 信玄と富士

③

## 富士の今と昔

39



「吉永第一小学校」となったのは昭和22年からです。

当時は穆清尋常高等小学校です。



昭和九年に新築されたばかりの吉永第一小学校です。この校舎に思い出

深い菊池直一(中比奈)さんのお話。「ちょうど四年生だった昭和七年に大きな台風が来てね。校舎が壊れてしまったんだ。建て直すことになって、生徒も基礎に敷く石を赤瀬川の花川戸から運んだね。赤ん坊の頭ぐらいのを男子は二個、女子は一個、体操の時間や放課後だったな。随分重い思いをしたけど一生忘れられないね。」



△医王寺の山本勘介の墓

信玄を書いた古い書物は数も多く、今日、私たちが四百年も前の信玄の活躍を知ることができているのは、これらの書物によるところが大きいのですが、その一つに「甲陽軍鑑」があります。これは信玄、勝頼二代にわたる武田家の合戦や

軍法、刑法などをしてしるした甲州流軍学書です。ところで、この書物には、信玄以外にもさまざまな人物が登場しますが、中でも信玄の家来、山本勘介には多くの紙面が使われています。彼の名は、信玄を語るとき必ず登場するほどよく知られ、特に、この時代の富士郡にはゆかりの深い武将です。彼の出生地は、富士郡山本村(富士宮市山本)だと伝えられています。この村は、富士郡上方の庄天間(富士市天間)に隣接しており、

また彼の墓が富士市比奈の医王寺にもあることなどから考えると、勘介と富士市とは意外と深いかわりがありそうです。勘介は山本村の豪族、吉野貞幸の子として生まれ、十二歳で三河牛久保の大林家の養子となりましたが、故あって二十歳で大林家を去り、文武の研さんのため諸国を遍歴しました。彼の生年は、はっきりしませんが、のちに信玄に仕えたのが天文十二年(一五四三)で、勘介四十三歳の時だと言われています。

蝶の姿が目につきますね。蝶は気温によって体温が変わります。黒い蝶は直射日光に当たると体温が上がり過ぎるので、木影を縫うように飛びます。白い蝶は日なたでも平気です。黒い服と白い服、人間も応用してますね。☆「我が家のアイドル」の掲載が遅れています。しばらくお待ちください。

### こちら編集室



富士保育園年長組のお友だちの作品を紹介します。雨の大好きなかつむりを作りました。私たちがかたつむりさんに負けないようにがんばっています。

